

国際ロータリー 第2500地区 第4分区
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3119回例会記録

日時：2024年 5月23日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：加藤 幸徳 SAA®

★開会点鐘：木村 一則 副会長

★国歌：—

★Rソング：我等の生業

★四つのテスト：—



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ローターテーマ

2023~2024 Weekly Report No.42



5月 会員卓話
30日 佐藤 祐治 会員
(木) 12:30～

6月 早朝例会
6日 虹のひろば 花移植
(木) 07:00～ 太陽の丘えんがる公園

鶴見 誠一郎 RID2500 ガバナーズローガン：今こそ変わる勇気を！さあ、一步前へ
高橋 義昭 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：継続は力なり

会長報告 木村 一則 副会長①

4月25日に第1回目の周年実行委員会を行いました。顔合わせの意味も含め総務、式典・記念事業、祝賀の各委員会の役割分担を確認し、来賓の範囲や予算の配分目安などを討議しました。また、以前の周年での問題点や反省点を洗い出す形で今回はどう対応するかなどを確認できました。今後は各委員会で詳細の協議に入ることと思いますが、委員会の会議もメイキャップの対象になりますので、その際は出席委員会へ報告して下さい。

話は変わりますが、最近新聞でも遠軽のニュースが多く載っています。うれしいニュース・残念なニュースと色々ですが、うれしいニュースとしては遠軽厚生病院の産婦人科に二人目の医師が着任したというものです。しばらくの間、遠軽で出産することが厳しい状況が続いていましたが、これで少しは医師の負担も減って、安心した出産を行えるものと思います。

二つ目は「駅そば」の後継者が見つかって修行に入るというものです。石北線の存続のためにも一役買ってくれることを期待します。

三つめは遠軽高校野球部が春季の全道大会で快勝で1回戦突破したことです。この勢いで勝ち癖をつけて、夏の大会では是非とも甲子園までたどり着いてもらいたいと思います。

また、残念なニュースとしては、遠軽交通が廃業するというものです。ただでさえ不便を感じた業界でしたが、末広ハイヤー1社になって、運転手や顧客が集中して体制が改善されればいいのですが、どうなる事か不安が残り、片石社長には是非頑張ってもらいたいと思います。

なお、本日のプログラムは安達会員②の卓話になります。後ほどよろしくお願ひ致します。

幹事報告 大西 孝拡 幹事③

1. 前週例会で高橋会長より報告がありました吉川健児氏は6月1日付で入会ですが、6月6日と13日は出張で休会しますので、6月20日の例会で入会式を予定しています。

委員会報告

◇黒坂 貴行 社会奉仕委員長④

6月6日7時より太陽の丘えんがる公園にて早朝



例会と花壇の花の植栽を行います。今年度最後の社会奉仕活動、ご協力を宜しくお願ひ致します。

◇前島 英樹 親睦活動委員⑤

配布の「親睦家族ゴルフ&パークゴルフ大会のご案内」の通り6月29日の土曜日午前からプレー、夜は表彰式を行う今年度最後の夜間例会となりますので、奮ってご参加をお願ひ致します。

◇石井 朋子 次年度幹事⑥

理事・役員及び各委員長はクラブ活動計画書と同報告書に掲載する就任・退任挨拶文を今月末までに事務局へご提出をお願ひ致します。

【名前等後の○数字は写真の番号】

本日のプログラム 会員卓話 電力システムを取りまく現状

安達 正彦 会員②

職業柄、電力業界に関する現状についてお話ししたいと思います。経産省のホームページの資料(右図)も見ていただきながらお話いたします。

まずは、日本の電力制度改革の歩みですが、1995年に始まった電力改革は、第5次の小売全面自由化・法的分離まで実施されており、現在ほどなでも家庭用等の低圧契約まで電力小売事業ができます。電力改革の目的は、安定供給の確保、電気料金の最大限抑制、利用者(需要者)の選択肢や事業者の事業機会拡大です。発電・送配電・小売の電気事業は、これまで全国10社による地域独占事業でしたが、電力改革の目的達成のため、送配電事業は規制残置、小売事業と発電事業は自由化され、発電事業は届出制、小売事業は登録制となりました。今後も災害連携強化、送配電網の強靱化、カーボンニュートラル実現への環境整備等が進められます。

停電に関しては頻度や停電時間が減少し続けているものの、近年は大規模な自然災害による停電も頻発しています。地域の停電ではこれからの時期、設備への樹木接触や鳥類の営巣が原因になることもあります。

小売自由化では新電力のシェアは最近の数字では全体で約16%、家庭等を含む低圧分野では約26%であり、小売電気事業者は731者となっています。

市場機能活用の点では、電気価値を細分化して取引する市場が整備され、発電された電気を取引する卸電力市場、発電能力(供給力)を取引する容量市場、需給調整する能力を取引する需給調整市場、非化石電源の電気に付随する環境価値を取引する市場があります。

卸電力市場は、近年の卸電力取引所の取引量が総需要の40%前後で推移しています。容量市場とは供給力・電源を広域機関が募集するものです。発電所の建設には費用と期間がかかり、採算性が見通せないと難しいためです。需給調整市場は、需要と供給を最終的に一致させる(周波数の維持)調整力を広域に低コストで調達するための市場です。

電力改革により電力も市場で取引されるようになりましたが目に見えない商品のため、各市場のルールやメカニズムは複雑で分かり難い部分もあります。

電力システム改革の目的

- 1 **安定供給を確保する**
震災以降、多様な電源の活用が不可欠な中で、送配電部門の中立化を図りつつ、需要側の工夫を取り込むことで、需給調整能力を高めるとともに、広域的な電力融通を促進。
- 2 **電気料金を最大限抑制する**
競争の促進や、全国大で安い電源から順に使う(メリットオーダー)の徹底、需要家の工夫による需要抑制等を通じた発電投資の適正化により、電気料金を最大限抑制。
- 3 **需要家の選択肢や事業者の事業機会を拡大する**
需要家の電力選択のニーズに多様な選択肢で応える。また、他業種・他地域からの参入、新技術を用いた発電や需要抑制策等の活用を通じてイノベーションを誘発。

送配電の広域化・中立化としては、中立的な送配電ネットワーク構築と広域的な電力供給を進めるべく広域的運営推進機関が創設され、需給ひっ迫時の地域間調整や連系増強の推進を目指しています。北海道-本州間の北本連系線も増強が進んでおり、再エネ発電や需給状況のニュース等でも話題になることがあります。

北海道電力は発電・小売親会社方式により北海道電力ネットワークを立上げ、送配電事業について中立性を確保しながら担うこととなりました。そのため北海道電力との兼業が原則禁止され、情報遮断等の行為規制も厳しく求められています。

最後に供給力の確保について、毎年、夏季・冬季の需給見通し・状況をお知らせしておりますが、需給ひっ迫の背景・要因は断続的な寒波、季節外れの暑さ・寒さ等の気候変動が目立ちます。供給力確保はもとより電力融通や調整力で対応していくこととなります。

お話しした以外にも資料やデータにご興味のある方はホームページにて検索いただき、ご覧いただければと思います。北海道は再生可能エネルギー電源等のポテンシャルがあるとされ、洋上風力発電、系統用蓄電池の接続、本州との送電線増強、脱炭素や水素利用等々、新聞などでも電力関連の話題に事欠かない状況になっております。引き続き、電力業界に関心を寄せていただければ幸いです。

ニコニコBOX 前島 英樹 親睦活動委員⑤
 島田光隆君 結婚記念日 5,000円
 2023-24年度 合計577,550円
 ☆閉会点鐘:木村一則副会長☆今号会報担当:山田荘一委員
 2023-24_42nd-02

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行:メディア委員会
須藤順一	5月16日	44	41	24	9	80.5%		委員長:東海林勉 副委員長:佐藤直也
出席委員長⑦	5月23日	44	41	26		63.4%		委員:石井朋子 植村涼子 奥山雅行 棚橋 忠 山田荘一

2023-2024年度 国際ロータリー 遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com
 会長:ゴードン R.マッキナリー(スコットランド) 会長:高橋義昭 副会長:木村一則
 第2500地区ガバナー:鶴見 誠一郎(紋別港RC) 会長エレクト:乾 淳 幹事:大西孝弘
 第4分区分ガバナー補佐:伊藤 晴之(紋別RC) 会計:島田光隆 SAA:加藤幸徳
 直前会長:高井一博 事務局員:西野真那美
 ◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証
 【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内
 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com
 【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

